

## 福岡県公安委員会活動状況

### <定例会の主な議題及び要旨>

令和3年12月16日（木）

#### 【報告事項】

#### 1 12月定例県議会（結果）について

（総務部）

警察本部から「12月定例県議会は、12月1日に開会し、12月20日に閉会予定である。本会議における代表質問では、民主県政県議団から男性の育児休業の取得促進について、緑友会から列車内での凶悪事件の防止策について、一般質問では、民主県政県議団から放課後の子どもたちの命と生活を守る取組の強化についての質問が行われた。警察委員会では、令和3年度福岡県一般会計補正予算ほか4件についての審査が行われ、いずれも可決されたほか、令和4年福岡県警察運営指針等について報告を行った。」旨の報告があった。

#### 2 空き家対象侵入窃盗事件の捜査終結について

（刑事部）

警察本部から「八幡西警察署ほか2警察署及び捜査第三課は、平成29年1月から令和3年3月までの間、福岡県、佐賀県、山口県及び広島県内において発生した空き家を対象とした窃盗事件につき、3月12日、住居不定の無職の男性を逮捕した。所要の捜査の結果、4県下における窃盗等443件、被害総額約3,080万円を確認し、捜査を終結した。」旨の報告があった。

公安委員から「全国的に空き家が放置され、治安対策上の問題となっているが、空き家の解消に向け、自治体との連携はあるのか。」旨の発言があり、警察本部から「今回の捜査で被害に遭った空き家については、自治体と情報共有の上、管理者を特定し、被害確認や今後の防犯対策について防犯指導を行っている。一方で空き家の管理者が判明しないケースもあり、今後も自治体と連携を図り、空き家の管理者に対する防犯対策等に努めていく。」旨の説明があった。

公安委員から「侵入窃盗は、県民に不安を感じさせる身近な犯罪であることから、空き家の解消に向けた自治体との連携に努めるとともに、県民に対する防犯指導や広報啓発に努めてもらいたい。」旨の発言があった。

#### 3 自動車保険金詐欺事件の捜査終結について

（交通部）

警察本部から「小郡警察署ほか7警察署、交通機動隊、高速道路交通警察隊及び交通捜査課は、佐賀県警察と合同し、平成28年9月から令和2年8月までの間、福岡県筑後地方及び佐賀県内において、自動車同士を故意に衝突させる6件の交通事故を起こし、損害保険会社等から自動車保険金約2,600万円をだまし取った詐欺事件について、6月16日、久留米市居住の人材派遣業の男性ほか5名を逮捕した。また、所要の捜査の結果、同事件に関与した延べ39名を検挙・送致し、捜査を終結した。」旨の報告があった。

公安委員から「被疑者らは、自動車の修理費だけでなく、怪我の治療費についても不正請求をしているのか。」旨の発言があり、警察本部から「被疑者らは、自動車の修理費だけでなく、交通事故による首の痛みを訴え、軽傷の人身事故として届出を行うとともに、整骨院に通院し、治療費の不正請求もしている。」旨の説明があった。

公安委員から「本件は組織的犯行なのか。」旨の発言があり、警察本部から「人材派

遣業の男性が中心となり、知人や同僚など複数人に声を掛け、犯行に及んだものであり、組織性は認められないと考えている。」旨の説明があった。